

鼻中隔わん曲症



笠井創院長

わん曲は
多くの人に
ある

「鼻中隔」とは、鼻の中央部の仕切りを指します。この部分が曲がることによって、さまざまな症状が出るのが鼻中隔わん曲症です。

曲症です。この病気について、笠井耳鼻咽喉科クリニック（東京都墨田区）の笠井創院長に聞きました。

鼻腔を左右に分けていた板状の仕切りが鼻中隔。鼻中隔は軟骨、篩骨正中板、鋤骨が組み合わさってできています。その上を粘膜が覆っている

起きこされることが多いります。また、「風邪をひきやすくなることもあります。これらの症状があり、「自分はアレルギー性鼻炎ではないか」と思って病院へ来る人が多くいます。

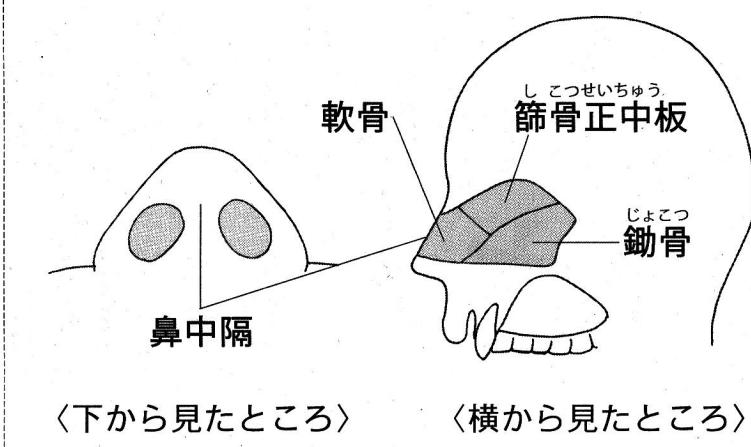
右に仕切る壁の役割を果たしているのが鼻中隔で、1枚の軟骨板を2枚の骨板（篩骨正中板、鋤骨）が挟んで構成されています（図1参照）。

この鼻中隔は、ある程度ゆがみや曲がりがあるのが普通です。年齢とともに、わん曲の発生頻度は増加し、成人では80～90%との報告もあります。

発生の原因ははっきりしていませんが、鼻中隔の右側と左側の発育差、かみ合わせ、軟骨と骨板の発育速度の差などが影響していると考えられています。

生まれる時の、産道で

【図1】 鼻中隔の位置と構造



鼻づまりをはじめ さまざまな症状

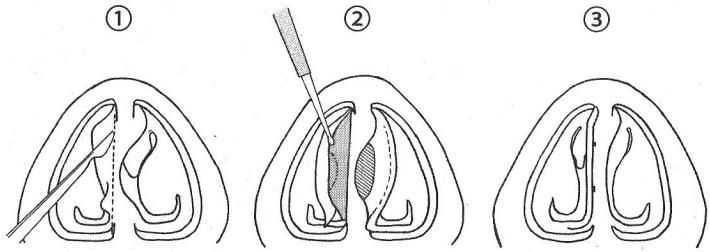
の圧迫によるという説もあります。この対象となります。最も多い症状は鼻づまりです。口呼吸、覚障害、いびき、睡眠障害、時無呼吸症候群、頭痛、頭重、副鼻腔炎、喉の感染などの症状も見られますが、これらも鼻づまりによって引き起こされることがあります。

りしていませんが、鼻中隔の右側と左側の発育差、かみ合わせ、軟骨と骨板の発育速度の差などが影響していると考えられています。

しかし、何らかの症状があれば鼻中隔わん曲症と診断され、治療

状があれば鼻中隔わん曲症と診断され、治療

【図2】鼻中隔矯正術



- ①メス等で、曲がっている方の鼻中隔粘膜を、点線のように切開。
- ②はく離子で粘膜と軟骨（網掛けの部分）をはく離。
- メスで鼻中隔軟骨を切開。反対側も鼻中隔粘膜と軟骨をはく離。
- 鼻中隔軟骨や（斜線部分）、骨の曲がっている部分を切除。
- 必要に応じて、鼻中隔骨を落とす。
- ③止血後、鼻中隔粘膜を縫合。

薬の効果が 薄ければ 手術

患者さんも多くいます。

薬の治療によって、一度よい状態を知ることで、いつもこのよう

な状態でありたいと思

い、手術に踏み切る人

も多いようです。

点鼻薬を使っても鼻

が通らない、または点

鼻薬を手放せない状態

が多いようです。

そこで、戸惑う人が多

いのも事実です。

その場合、主症状が鼻づまりであれば、ま

ず点鼻薬を使って様子

を見ます。

そこで、戸惑う人が多

いのも事実です。

そこで、戸惑う人が多

いのも事実です。

矯正術は 発育が 安定した後

であり、なおかつその原因がわん曲であれば、手術をすることが

勧められます。

そのための「鼻中隔

わん曲症矯正術」は図

2のような流れで進

め、曲がっている軟骨

と骨の一部を切除して

空気の通り道を空ける

ようにします。

く、満足度の高い手術

です。

切除された骨や軟骨

は元に戻ることがない

ため、再発することは

ありません。

これまで長期間にわ

たって鼻がつまっているため、悪い状態が当

たり前になり、鼻通り

のよい状態を知らない

ことがあります。

それまで長期間にわ

たって鼻がつまっているため、悪い状態が当

たり前になり、鼻通り

のよい状態を知らない

曲がっている部分だけを取り除くので、鼻の高さが変わることは

ありません。鼻の穴から器具を入れて行う、安全性の高い手術です。平均30～60分ほど

で終了します。

術後は止血等のた

め、2、3日の間、鼻

にガーゼをつめます。

費用は病院によつ

て治療を進めてください。

子どもの場合は、で

きるだけ手術は避け、

飲み薬や点鼻薬などで

腫れを抑えてしのぎま

す。

鼻中隔は鼻の形との

関係が強いといわれて

います。その一部を切

除することで鼻の支え

が弱くなり、発達段階

の間は、顔のゆがみや

鼻の成長の妨げにな

る可能性があるため

です。

こうしたことを考慮

し、手術を受けるタイ

この期間は少し呼吸が苦しくなります。

ガーゼを抜くまで入

院しますが、最近は外

閑も少しずつ増えてい

ます。

費用は病院によつ

て治療を進めてください。

子どもの場合は、で

きるだけ手術は避け、

飲み薬や点鼻薬などで

腫れを抑えてしのぎま

す。

鼻中隔は鼻の形との

関係が強いといわれて

います。その一部を切

除することで鼻の支え

が弱くなり、発達段階

の間は、顔のゆがみや

鼻の成長の妨げにな

る可能性があるため

です。

こうしたことを考慮

し、手術を受けるタイ

が弱くなり、発達段階